



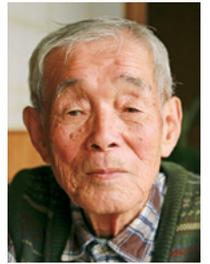
**戦**争は歴史や物語ではない。私たちには現実であり生き抜いた証。  
昭和20年、鹿児島45連隊として入隊し満州に渡った。  
母から小さな声で「死なずに戻って」、父は「陛下のために立派な奉仕をしよう」と感情を押し殺したように戦地へと送り出してくれた。出発間際、母は涙を流し、父からは「元気だな」と言葉をかけていたが、その言葉が父から聞いた最

# 錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内で頑張っている方を中心に紹介していきます。第77回目は、旭町自治会の牧原 正恵さんです。

◎77人目 **牧原 正恵**さん  
【旭町自治会】



後の言葉となった。  
**父からのメッセージ**  
大正13年、肝属郡田代村で牧原さんは生まれ内ノ牧にあった林業養成所に父の薦めで入り、宮崎県綾営林署に就職した。歴史や航空機など好きだった牧原さんは、17歳の頃特攻隊に志願し合格したが、父の了承が得られなかったため入隊できなかった。  
満州に渡って間もなく、ソ連軍に

捕虜としてシベリアに収容され、貧しい食事や環境で働かされた。数多くの仲間が、妻子や家族の名を呼びながら息絶えていった。牧原さんもそのような環境化で病となり長い間隔離され「もう日本には戻れない」と生きることを諦めかけていた。

昭和22年6月19日。今でもこの日を忘れることはない。病に倒れ、シベリアの地で人生を諦めかけていたとき父の夢を見た。

昭和24年、日本に帰国した際、夢を見た時期に父が亡くなった事を知り、「あの夢が父からの最後のメッセージだったか」と最後に話した父の言葉を思い出した。

牧原さんの父も大正5年ごろ台湾に歩兵連隊として渡り、2年の兵役を終え、連絡船「信濃丸」で帰国した。「信濃丸」とは、バルチック艦隊を発見し、日本海海戦での日本軍勝利に大きく貢献した船である。父の乗船から32年後、牧原さんはシベリアから同船で帰国する事となり、偶然の奇跡に身震いする程だったという。

**路傍の雑草執筆**  
牧原さんは現在90歳。  
父の薦めで入った営林所に帰国後は復職し、そのころだったか日記を書くようになった。  
当時の日記を読み返してみると、『昭和25年3月。大根占営林署の植樹祭が鳥浜海岸に防風林として

松の苗が植林された。その当時の事業課長長濱重俊さんが皆の職員に今日の植樹は牧原君が復員した記念樹だよ。』と牧原さんは日常の出来事などを日記に残していた。

平成2年に区長（自治会長）になったきっかけに書き綴った日記や記憶などから年に6回ほどのペースで「路傍の雑草」というタイトルで執筆を重ね、今回で248号となる。自治会長を交代した現在でも父との思い出や戦争の記憶、営林署時代の事など何気ない出来事や思い出を執筆し配布している。牧原さんが執筆し妻が添削する。これが今では一つの楽しみとなり前ほどのペースではなかなか発行できないが、妻と二人三脚でがんばっている。

90歳という高齢で執筆を続けている方は少ない。歴史や物語ではない。牧原さんが現実生き抜き感じた事を書いてほしい。

**町営住宅 空き家状況**  
(3月1日現在)

**大根占地区**

特公賃 芝山団地	1戸
公営 港団地	2戸
町営 旧池田中教職員団地	1戸

**田代地区**

町営 荒田原住宅	1戸
----------	----

お問い合わせ及び入居希望の方は、建設課または地域振興課へご連絡ください。

**EDITORS**

●現在、ゆるキャラが全国的にも大人気！工事看板にも錦江町のでんしろうくんやクワガタガールズ、鹿児島県のぐりぶーが使われるなどゆるキャラ人気上昇中。ゆるキャラの運動会もあり、かわいい姿で運動神経も大事になってきています。人気の秘訣とは尋ねると、「広い心と忍耐です。」ゆるキャラも大変なんですね。😊

**休日の在宅当番医**

月日	病院名	電話番号
3月21日	肝属郡医師会立病院	22-3111
23日	藤崎クリニック	22-2238
30日	二川内科胃腸科	22-2033

※諸事情により変更となる場合がございますので、ご利用の前にお問い合わせください。

**人口の動き**

平成26年3月1日現在

	人口	前月号比
人口	8,653人	(△20)
男	4,044人	(△11)
女	4,609人	(△9)
世帯数	4,142戸	(△5)

△は減少  
住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。